

長野リネンサプライ株式会社（長野県長野市）



家族構成の変化により、生活面、健康面の課題が顕在化した社員の支援のため、「ケア会議」を実施。安全衛生委員会との連携により、社内全体の健康に対する関心を醸成。



事業所の概要

前身のクリーニング事業を発展させ、昭和38（1963）年に設立された。病院基準寝具、福祉施設・ホテルの寝具、レストランなどのテーブルリネン、ユニフォームなどを取り扱っている。

従業員数 125人

業種および主な事業内容

リネンサプライ業

障害者雇用の経緯

身体障害者の職場実習の受け入れをきっかけに障害者雇用を開始。1980年には須坂工場が心身障害者雇用モデル事業所の認定を受け、知的障害者を多数雇用。同時に社員寮も設立。1990年には長野工場を重度障害者多数雇用事業所として増築。1993年に障害者指導課を設置。

紹介内容

知的障害

【従事業務】
クリーニング仕上げ工

雇用障害者の障害種別と年齢構成

年齢 (人)	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	障害種別 (人)	視覚障害者	聴覚障害者	肢体不自由者	内部障害者	知的障害者	精神障害者	その他
	4	8	13	12	1		0	0	0	0	0	37	1

企業の声



納富 廣幸さん (代表取締役社長)

当社の企業理念は、「和」「奉仕」「幸福」です。「和」をもってその実践に努め、「奉仕」の心で社会福祉に貢献することで真の「幸福」を実現し、それが地域社会や当社の発展につながっていきます。また、障害のある人もない人も共に働き、共に暮らし、共に遊ぶことを通して、真のノーマライゼーションが実現できると確信しています。

障害のある社員は、明確な夢を持っていきいきと仕事に取り組み、時折驚くべき能力も見せてくれ、当社にとってなくてはならない存在です。それぞれの得意な分野を生かせる職務に就けば、能力を発揮することは十分可能です。

須坂工場の新設にあたっては、社員寮を併設しました。障害のある社員は、年齢を重ねると家での居場所がなくなってしまうことが多いので、彼らが安心して暮らせる住まいを提供したいという思いからです。

高齢化の問題には、25年ほど前から取り組まなければならないと感じるようになりました。働けなくなっても住み慣れた場所にいられるようにしたいと考え、平成9年には社会福祉法人を設立し、平成20年には社員寮をグループホームに改変しました。

福祉にまでは手が回らない企業も多いとは思いますが、私たちの取り組みを紹介することで、後に続く企業が少しでも楽になれば嬉しく思います。

社員の声



Gさん (勤続32年)

ハローワークの紹介で、働き始めました。今は、テーブルクロスや、まくらカバーなどを置みながら検品する作業をしています。肩や腰が痛くなったり、体調をくずすこともあるため、健康に気を付けようと思っています。担当の人が忙しいときには、たたんだクロスを整頓することもあります。そんな時にはお礼を言ってもらって嬉しいです。

現場担当者の声



神戸 千恵美さん (障害指導課 課長代理 (企業在籍型ジョブコーチ))

毎年4月に障害のある社員を含め部署異動があり、担当作業が変わる人もいますが、Gさんの場合は、古くから同じ部署にいたので、教える役目をになうことも期待されています。

当社では社員旅行や新年度会などの行事も行っています。入社式の後、ホテル貸し切りでの懇親会もありますが、Gさんにとってもおしゃれをして出かける楽しい機会となっています。

定年を迎える社員も出ています。39年勤めて定年後再雇用された社員は、記念にハワイ旅行へ出かけ、生活を満喫しています。

障害のある社員は休まずまじめに働く方も多いのですが、そういった社員は会社を働く場というだけでなく、自分の居場所だと思ってやりがいを持って働いており、そういう思いを持った人財を何よりも大切にしたいと思っています。